~ 地域との協働による吉野山観桜期交通対策の実施 ~

活動の様子







臨時駐車場の事前設営(駐車区画のライン引き)

企画·活動概要

1日に3万人以上が訪れる観桜期の吉野山において、観桜客の移動の円滑化を図ることを目的とした交通対策について、吉野町役場や(一社)吉野ビジターズビューロー等と協働し、その運営に当たる。本学の学生は、主要な対策の一つであるバークアンドバスライドの円滑な運営に資するため、準備作業(臨時駐車場の設営)や5~6千人が利用するシャトルバスの乗り場。計4箇所)での乗の案内・誘導などに従事する。なお、当日の状況や収集データをゼミ(研究演習 ||)において分析し、地域に対して改善提案を行う。

経緯·背景·目的

観桜期の吉野山では、ビーク日には200台を超える観光バスや5~6.000台のマイカーが来場し、著しい交通渋滞が発生する。このため、バークアンドバスライドや観光バスの予約制ងなどの交通対策が難じられてきた。その実施・運営は吉野山観光協会などで組織される協議会が主体となり、地域主導で実施されている。担当教員は平成18年より交通対策の企画・実施に深く関わってきたこともあり、その円滑な実施やさらなる改善提案などを通じて地域に貢献することを目的として、地域と協働して本企画に取り組むこととした。



シャトルバスのりば(臨時駐車場)

取り組む課題

- 1)観桜期吉野山交通対策の円滑な運営への協力(事前準備、当日の運営補助)
- 2)状況把握および今後の改善計画に必要なデータ(駐車台数やシャトルバス乗車人員など)の収集
- 3)交通対策における問題点の把握と改善策の地域への提案

本学(学生)の役割

- 1)事前準備:パークアンドバスライド用の臨時駐車場の設営(臨時駐車場・駐車区画ライン引きなど)
- 2)運営補助:
- ・シャトルバスのりばにおける案内(行き先、時刻、その他問い合わせ対応)
- ・シャトルバス利用状況の記録(シャトルバスの発車時刻、乗車人数のカウント)
- ・駐車場内における車両誘導(空いている駐車マスへの車両の誘導) 3)結果の分析と改善提案:
- ・問題整理(現場の体験に基づく問題整理、収集データからみた問題把握)
- ・改善提案(解決すべき課題の整理、具体的な改善提案)



ゼミにおける課題整理の様子

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

現地での活動は雨天により一部日程が中止となったが、計画どおりに遂行できた

活動結果に基き、問題抽出~課題整理~改善提案をゼミにてグループワークの 形で行い、案内誘導の改善、車両誘導方法の改善など具体的な改善案を作成 するなどの成果が得らえた。その結果は吉野ビジターズビューローに報告し、一部 は次年度の実施内容に反映された。

参加した学生は、地域の方々との協働を通じ責任感を持って仕事に従事することの重要性を認識したほか、観桜客への応対を通じ、自らが考えて適切な行動をとる貴重な機会を得ることができた。



シャトルバスのりばにおける案内・誘導 (吉野山中千本)

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



経済学部 経済学科 特任教授 岸野 啓一(キシノ ケイイチ)

〈専門·担当科目等〉 交通工学、交通計画 <関係者・企業等>

一般社団法人 吉野ビジターズビューロー 参与 大北 雅祥(オオキタ マサヨシ)